

# 地域別(坂井周辺エリア)における対策の基本方針について(案)

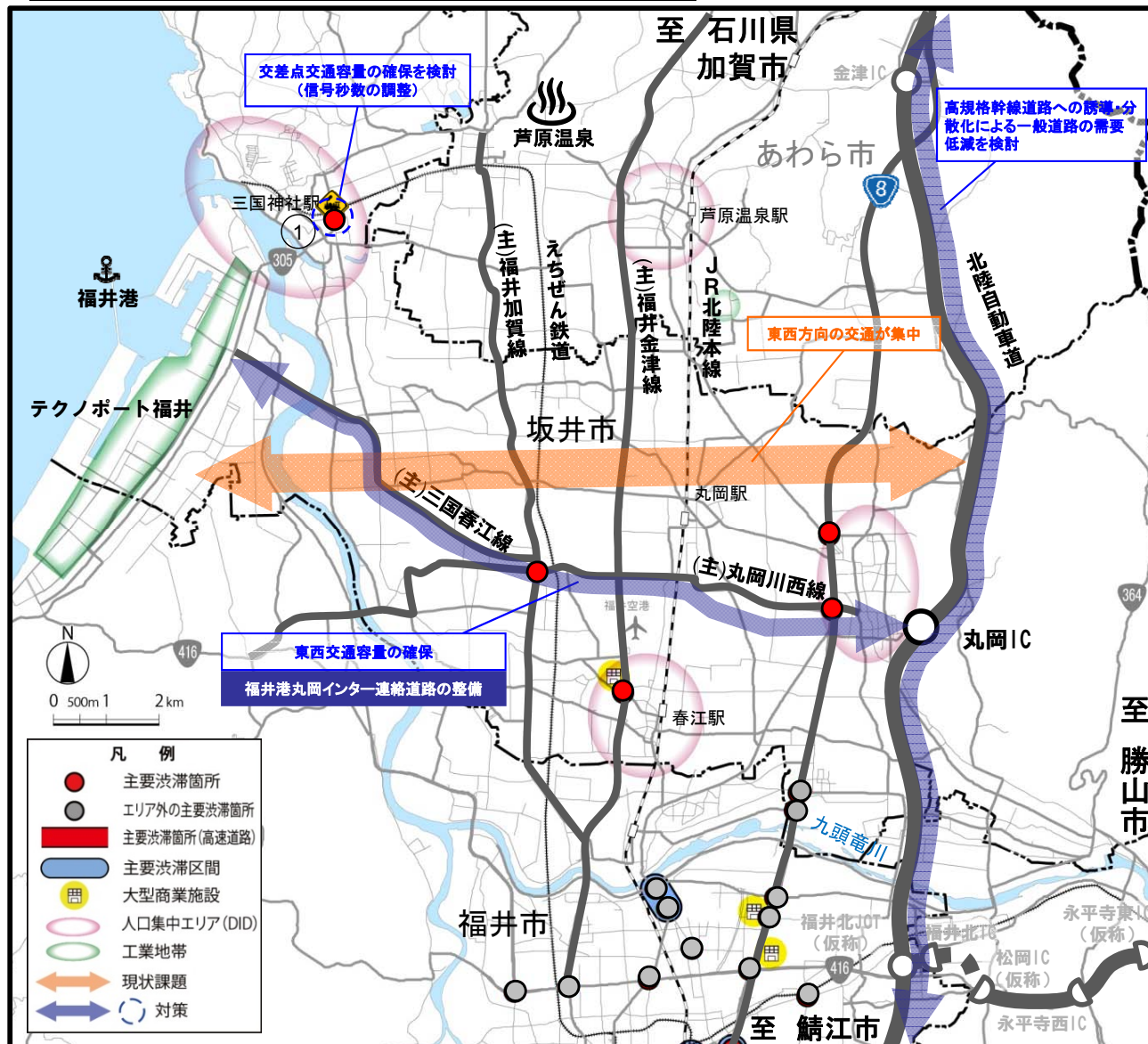
## 1. 坂井周辺エリアの概況

	概要
地域特性及び道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>坂井周辺エリアは、福井県嶺北地域の北部に位置し、北西部には福井港、北部には芦原温泉、南部は良好な住宅地が立地し、福井市の市街地北部地域と隣接。</li> <li>広域の交通基盤として、JR北陸本線やえちぜん鉄道等の公共交通機関の他、北陸自動車道、国道8号、主要地方道の福井加賀線と福井金津線等の幹線道路が整備され、南北方向に交通網が発達。</li> <li>東西方向の幹線道路は、主要地方道丸岡川西線や三国春江線のみで、南北方向に比べ交通網は脆弱。</li> <li>国道8号方面に向かって集中する東西交通は、福井市へ向かう南北幹線道路との交差点で渋滞が発生。</li> <li>国道8号では東西方向のアクセスが集中する交差点で渋滞が発生。</li> <li>また、えちぜん鉄道三国神社駅付近の踏切南側の交差点で通勤時間帯に交通集中による渋滞が発生。</li> </ul>

## 2. 方向性

	概要
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>東西方向の交通容量を確保するため、新たな幹線道路を整備。(福井港丸岡インター連絡道路)</li> <li>高規格幹線道路等への誘導・分散化により、一般道路の需要の低減を検討。</li> <li>えちぜん鉄道三国神社駅付近の踏切以南の交差点について、信号秒数の調整等の交通円滑化を検討。</li> </ul>

## 3. 坂井周辺エリアの主要渋滞箇所と現在の対策等



### 基本方針

■ 国、県、警察や道路会社等が連携しながら、幹線道路の整備や一般道路の需要の低減策等のソフト対策等による渋滞軽減への取り組みを図り、渋滞対策協議会において、対策検討及び対策効果を検証して参ります。

# 地域別(福井周辺エリア)における対策の基本方針について(案)

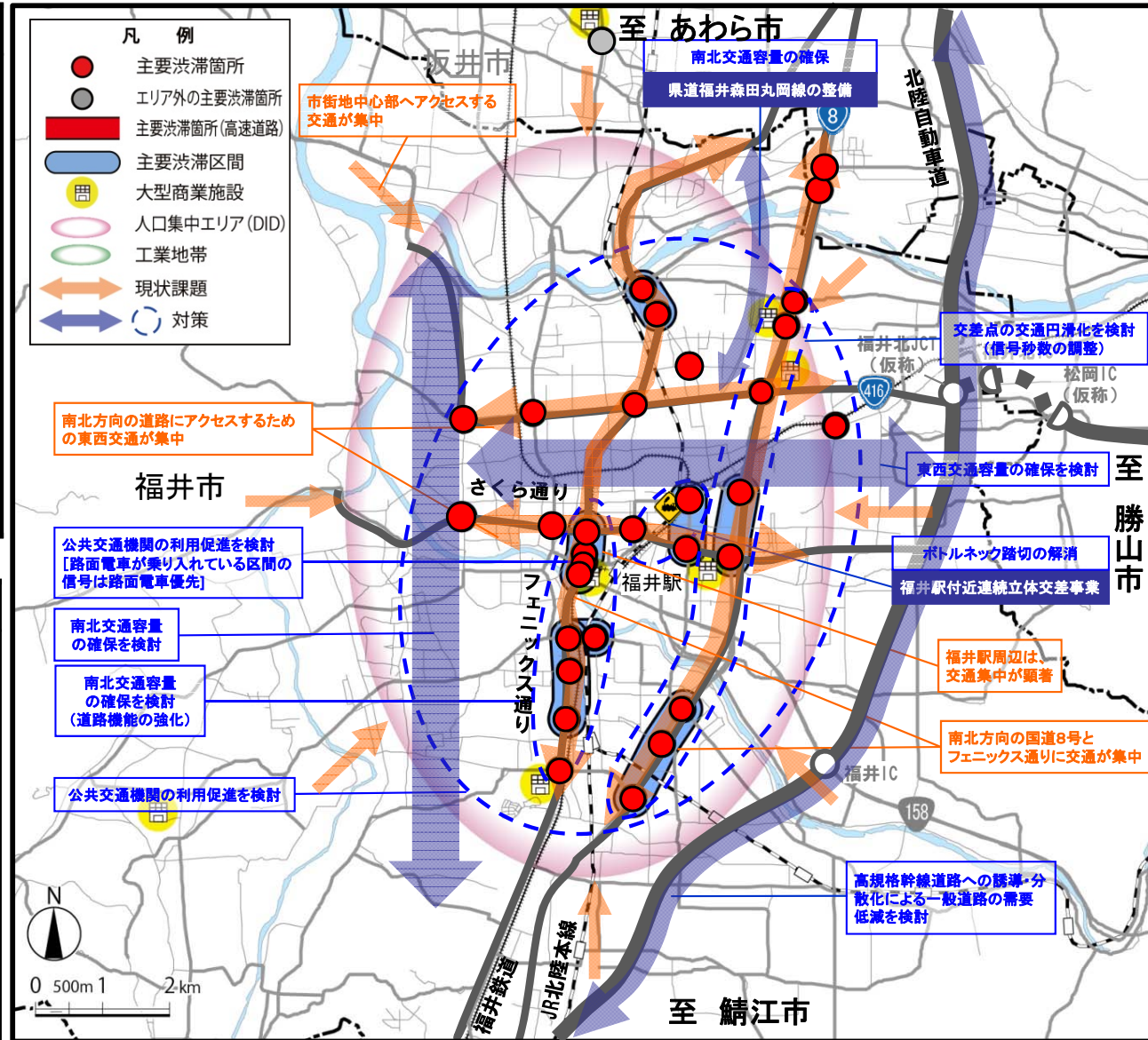
## 1. 福井周辺エリアの概況

	概要
地域特性及び道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>福井周辺エリアは、福井県嶺北地域の北部に位置し、福井県最大の都市である福井市を含む地域。利便性の良さから県都としての都市機能や商業施設等が集積。</li> <li>南北方向は、京阪神方面や北陸方面への広域交通基盤としてJR北陸本線、北陸自動車道が整備。地域交通としてえちぜん鉄道や福井鉄道の路面電車と国道8号、フェニクス通り等が整備。</li> <li>東西方向は、南北の幹線道路にアクセスする国道416号やさくら通り等の幹線道路が整備。</li> <li>福井駅を中心とした市街地では、公共施設や商業施設等が多く、通勤や施設利用者のアクセスが集中するため、日常的な渋滞が発生。</li> <li>南北軸の国道8号とフェニクス通り、東西軸の国道416号とさくら通り等の幹線道路や踏切部で、朝夕の通勤時間帯の交通集中により渋滞が発生。</li> <li>福井駅の南側は通勤時間帯に南北幹線道路に交通が集中し、渋滞が発生。</li> </ul>

## 2. 方向性

	概要
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地中心部方向では、南北方向の交通容量を確保するための幹線道路の整備や高架化による東西方向のボトルネック踏切の解消。(県道福井森田丸岡線、福井駅付近連続立体交差事業)</li> <li>南北方向の交通容量を確保するため、フェニクス通りの道路機能の強化を検討。</li> <li>市街地中心部への流入交通を分散するため、新たな幹線道路の整備等、東西及び南北方向の交通容量の確保策を検討。</li> <li>交差点交通容量を確保するため、国道8号の信号秒数の調整等によりボトルネック交差点の交通円滑化を検討。</li> <li>市街地中心部へ向かう交通手段のコントロールを図るため、公共交通機関の利用促進策を検討。</li> <li>高規格幹線道路等への誘導・分散化により、一般道路の需要の低減を検討。</li> </ul>

## 3. 福井周辺エリアの主要渋滞箇所と現在の対策等



## 基本方針

■ 国、県、警察や道路会社等が連携しながら、幹線道路の整備による交通容量の確保やボトルネック踏切の解消、一般道路の需要の低減策及び公共交通機関の利用促進等のソフト対策による渋滞軽減への取り組みを図り、渋滞対策協議会において、対策検討及び対策効果を検証して参ります。

# 地域別(鯖江・越前周辺エリア)における対策の基本方針について(案)

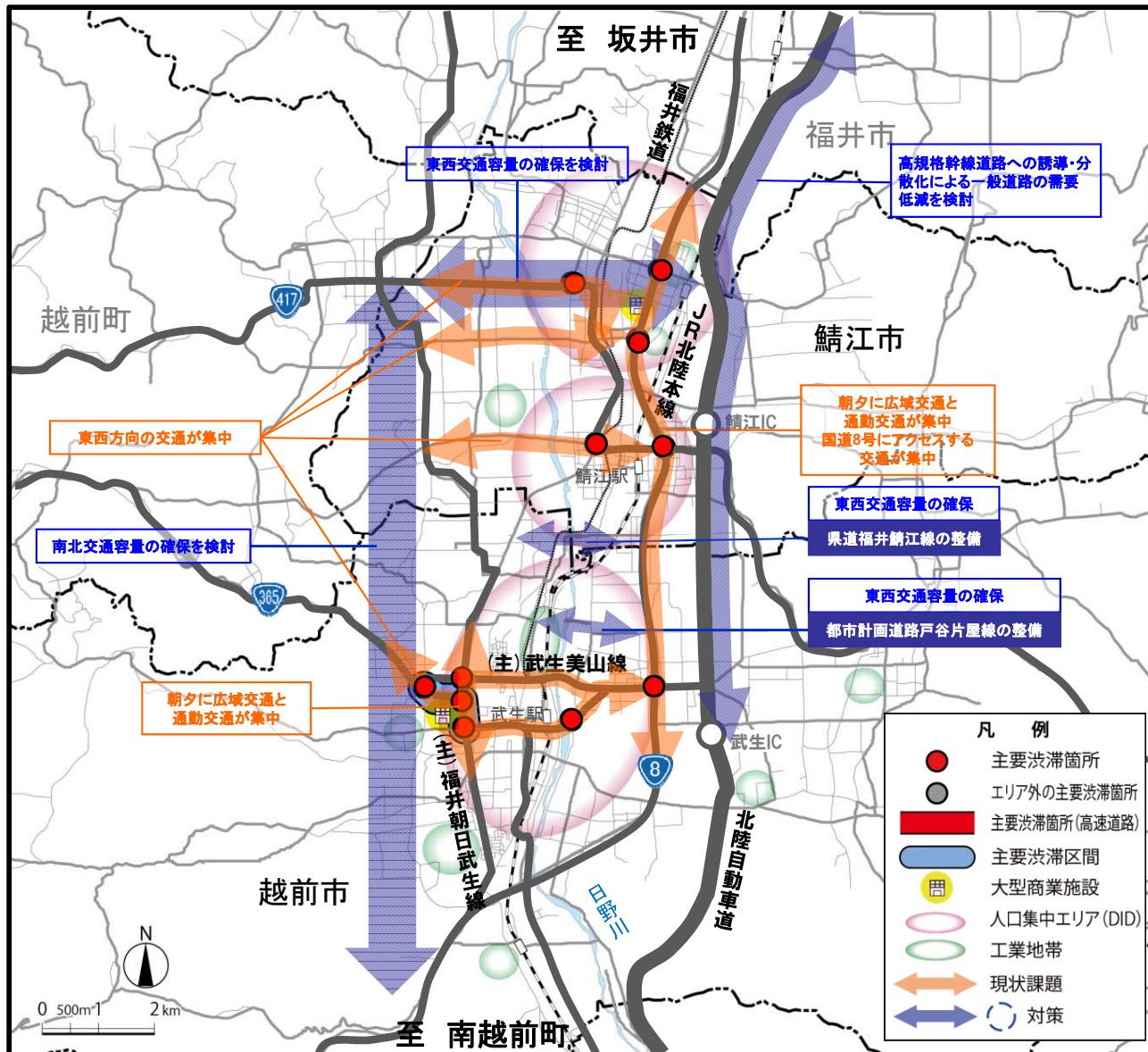
## 1. 鯖江・越前周辺エリアの概況

	概要
地域特性及び道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>鯖江・越前周辺エリアは、福井県嶺北地域の南部に位置し、北は県都である福井市、南は南越前町に隣接。北陸自動車道へのアクセス性の良さからトラック等が集中する工場が集積。</li> <li>広域の交通基盤として、JR北陸本線や北陸自動車道が整備され、南北方向の交通が発達。南北方向の地域交通として、福井鉄道がJR北陸本線に並行して運行され、国道8号や主要地方道福井朝日武生線等の幹線道路が整備。</li> <li>東西方向は、国道365号、国道417号、主要地方道武生美山線等の幹線道路が整備。</li> <li>地域中心部には日野川が流れており、川を渡る東西方向の幹線道路が少なく、越前市内では国道365号、主要地方道武生美山線等の東西方向路線で渋滞が発生。</li> <li>鯖江市内では国道417号等の東西方向路線で渋滞が発生。</li> <li>国道8号への東西アクセス交通や国道365号の南北交通は、朝夕にトラック等の広域交通と通勤交通が集中し、渋滞が発生。</li> </ul>

## 2. 方向性

	概要
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域中心部における東西方向の交通容量を確保するため、新たな幹線道路を整備。 (都市計画道路戸谷片屋線・県道福井鯖江線)</li> <li>鯖江市内の東西交通を分散するため、新たな幹線道路の整備等、東西方向の交通容量の確保策を検討。</li> <li>国道8号へ集中する東西交通の分散と国道365号の南北交通を分散するため、新たな幹線道路の整備等、南北方向の交通容量の確保策を検討。</li> <li>高規格幹線道路等への誘導・分散化により、一般道路の需要の低減を検討。</li> </ul>

## 3. 鯖江・越前周辺エリアの主要渋滞箇所と現在の対策等



## 基本方針

■国、県、警察や道路会社等が連携しながら、幹線道路の整備や一般道路の需要の低減策等のソフト対策等による渋滞軽減への取り組みを図り、渋滞対策協議会において、対策検討及び対策効果を検証して参ります。

# 地域別(永平寺周辺エリア)における対策の基本方針について(案)

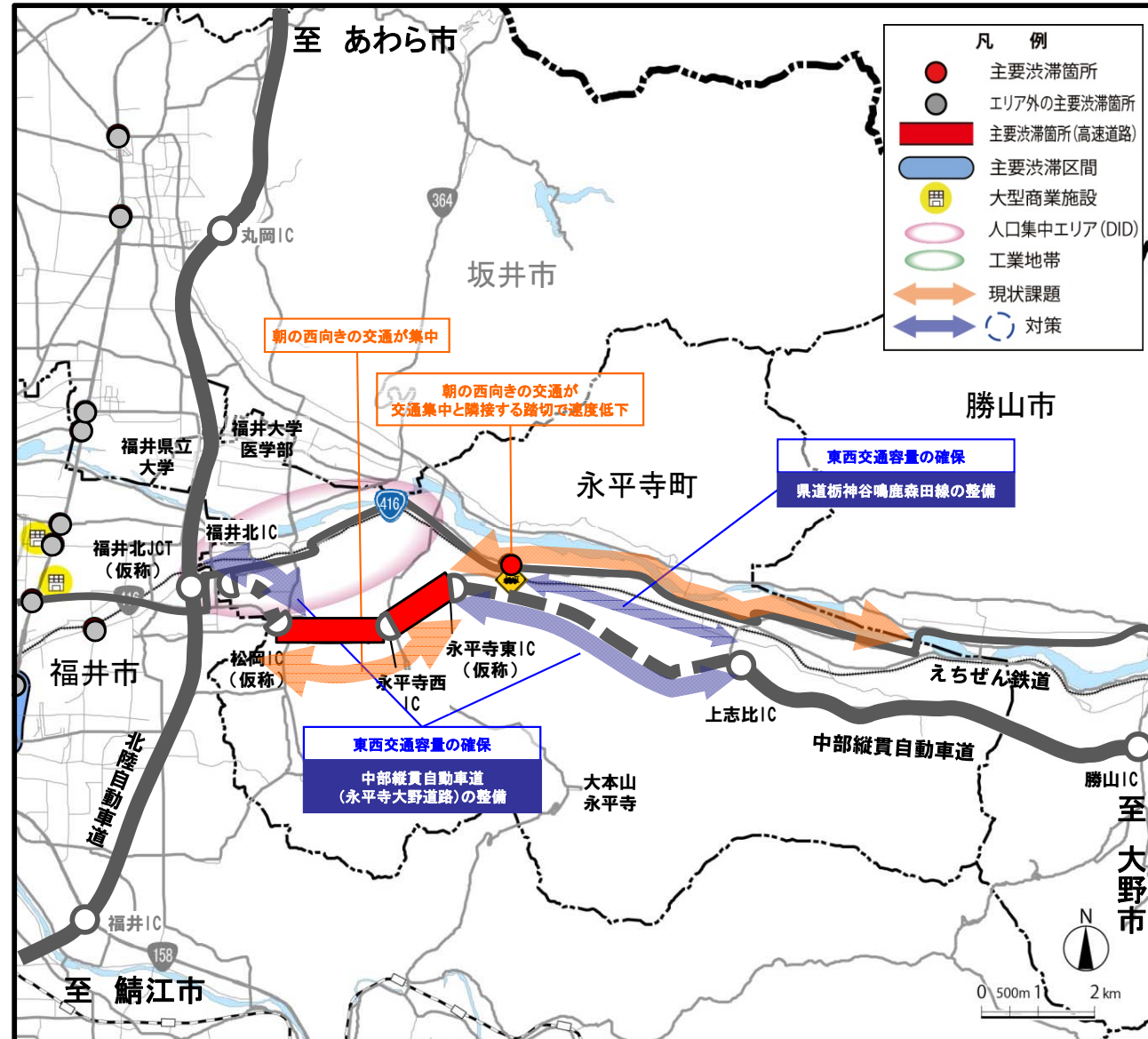
## 1. 永平寺周辺エリアの概況

	概要
地域特性及び道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>永平寺周辺エリアは、県都である福井市に隣接し、大本山永平寺といった歴史文化資源や福井大学医学部、福井県立大学等学術研究機関が立地。東側は恐竜博物館で有名な勝山市と隣接。</li> <li>福井県嶺北地域東部の永平寺町・勝山市から福井市への東西広域交通のアクセス道路として、中部縦貫自動車道(一部供用)と国道416号の東西軸の幹線道路が整備。並行して地域交通であるえちぜん鉄道が整備。</li> <li>福井市方面に向かう朝の出勤時間帯の交通集中により、中部縦貫自動車道の端末やトンネル部で渋滞が発生。</li> <li>中部縦貫自動車道(永平寺大野道路)の福井北JCT(仮称)～松岡IC(仮称)と永平寺東IC(仮称)～上志比ICは未供用で連続性が確保できていない。</li> <li>国道416号の交差点では朝の通勤時間帯の交通集中と接続する国道364号の踏切による速度低下が影響し、渋滞が発生。</li> </ul>

## 2. 方向性

	概要
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>永平寺町・勝山市から福井市への東西アクセス道路の交通容量を確保するため、高規格幹線道路を整備。(中部縦貫自動車道(永平寺大野道路))</li> <li>国道416号の交通集中を分散させるため、新たな幹線道路を整備。(県道栃神谷鳴鹿森田線)</li> </ul>

## 3. 永平寺周辺エリアの主要渋滞箇所と現在の対策等



## 基本方針

■国、県、警察や道路会社等が連携しながら、幹線道路の整備による渋滞軽減への取り組みを図り、渋滞対策協議会において、対策検討及び対策効果を検証して参ります。

# 地域別(敦賀・美浜周辺エリア)における対策の基本方針について(案)

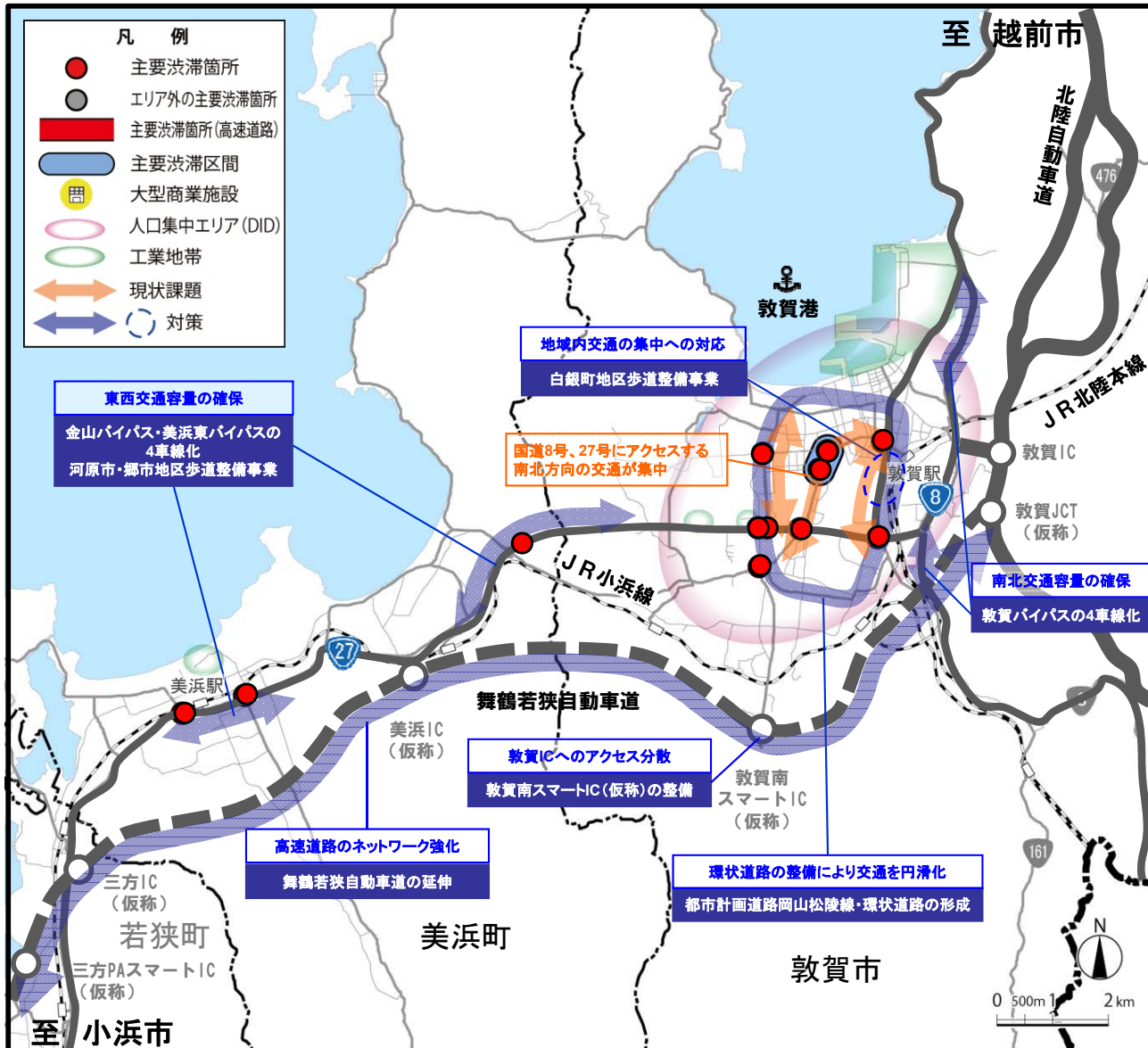
## 1. 敦賀・美浜周辺エリアの概況

	概要
地域特性及び道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敦賀・美浜周辺エリアは、福井県嶺南地域の東部に位置し、嶺南地域の中心都市であり、重要港湾敦賀港が立地。</li> <li>・広域交通基盤として、南北方向にJR北陸本線や北陸自動車道、国道8号が、東西方向にJR小浜線や国道27号が整備。</li> <li>・エリアを通過する東西交通は国道27号の1本で担っており、東西の高速道路ネットワークが無く、市街地へ流入する交通と広域通過交通が混在。</li> <li>・舞鶴若狭自動車道が延伸しても、敦賀IC～美浜IC(仮称)間の距離が長いことから、敦賀市内を目的地とする交通が敦賀ICに集中する。</li> <li>・広域の幹線道路である国道8号、27号に市街地内からのアクセスが集中し、幹線道路やアクセス道路の交差点に渋滞が発生。</li> <li>・国道8号の敦賀駅前交差点では、駅にアクセスする自動車や歩行者の影響を受け、渋滞が発生。</li> </ul>

## 2. 方向性

	概要
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道27号の広域交通を高速道路へ転換するため、高規格幹線道路を整備。(舞鶴若狭自動車道の延伸)</li> <li>・敦賀IC周辺に集中する交通を分散するため、舞鶴若狭自動車道の利用交通が敦賀市内にアクセスできるICを整備。(敦賀南スマートIC(仮称))</li> <li>・国道8号、27号の南北・東西方向の交通容量を確保するため、道路機能の強化を実施。(国道8号敦賀バイパス、国道27号金山バイパス・美浜東バイパスの4車線化、河原市・郷市地区歩道整備事業)</li> <li>・市街地内の交通集中への対応として市内を迂回できる環状道路網を整備。(都市計画道路岡山松陵線)</li> <li>・敦賀駅周辺の交通を円滑化し、南北交通を分散するため、道路機能の強化を実施。(白銀町地区歩道整備事業)</li> </ul>

## 3. 敦賀・美浜周辺エリアの主要渋滞箇所と現在の対策等



## 基本方針

■国、県、警察や道路会社等が連携しながら、幹線道路の整備による交通容量の確保や市内を迂回できる環状道路網の整備による渋滞軽減への取り組みを図り、渋滞対策協議会において、対策検討及び対策効果を検証して参ります。

# 地域別(小浜周辺エリア)における対策の基本方針について(案)

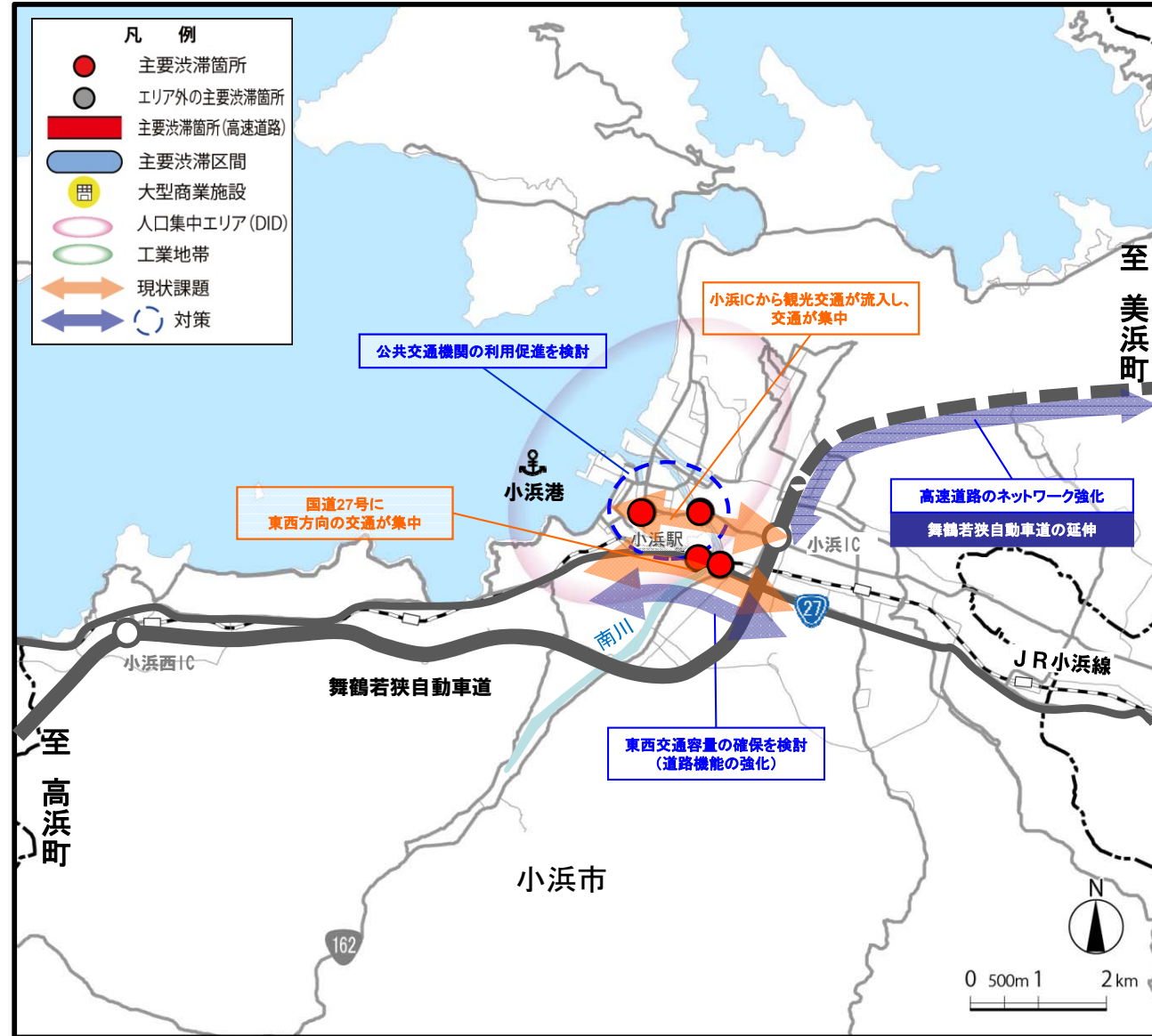
## 1. 小浜周辺エリアの概況

	概要
地域特性及び道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>小浜周辺エリアは、福井県の南西部、若狭のほぼ中央に位置した若狭地域の中核都市。北は国定公園の指定を受けた若狭湾に面し、南は、東西に走る京都北部一帯に連なる山岳。東西は若狭町とおおい町に隣接。</li> <li>交通基盤の東西軸は、JR小浜線、国道27号の幹線道路が整備。</li> <li>国道27号の小浜市街地中心部において、日常の道路利用により渋滞が発生。</li> <li>海水浴シーズン等の小浜ICにアクセスする観光交通が集中し、渋滞が発生。</li> </ul>

## 2. 方向性

	概要
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道27号の広域交通を高速道路へ転換するため、高規格幹線道路を整備。(舞鶴若狭自動車道の延伸)</li> <li>国道27号の東西交通容量の確保するため、道路機能の強化を検討。</li> <li>市街地中心部へ向かう交通手段の分散を図るため、公共交通機関の利用促進策を検討。</li> <li>小浜ICから小浜市街地中心部に流入する観光交通をコントロールするため、公共交通機関の利用促進策を検討。</li> </ul>

## 3. 小浜周辺エリアの主要渋滞箇所と現在の対策等



## 基本方針

■ 国、県、警察や道路会社等が連携しながら、幹線道路の整備による交通容量の確保や公共交通機関の利用促進等のソフト対策による渋滞軽減への取り組みを図り、渋滞対策協議会において、対策検討及び対策効果を検証して参ります。